




まち・むらのデザインを考えよう

高学年程度

季節：年間

時間：6時間

-  自分たちの住んでいるまち・むらに合った景色（景観）はどのようなものかを考えてみましょう。
-  自分たちの住んでいるまち・むらの看板などに目を向けて、まわりの自然や街並みなどと調和がとれているかどうか調べてみましょう。
-  どんなところが調和がとれているか、どうすれば調和がとれたものになるかを考えてみましょう。

さあはじめよう

（進め方）

1 自分の住んでいるまち・むらに残るすてきな自然や歴史ある街並みなど、自分が住んでいるまち・むらでこの先もずっと残していきたい風景（景観）はどんなものを話し合ってみましょう。

2 自分たちのまち・むらにある道路標識や信号機、看板などが、残したい風景に調和したものかどうかを次のような手順で調べてみましょう。

調べる場所毎でグループを作ったり、調べる物毎でグループを作りましょう。

グループ毎に、ワークシート1を使って次のようなことを調べてみましょう。

* 残したい風景と調和しているか。

* どんなところが調和しているか、または調和していないか。

準備

用意するものは

ワークシート1

カメラやデジタルカメラなど

スケッチのできるもの

筆記用具 など



3 自分たちのまち・むらで残したい風景に調和している場所を紹介しましょう。

4 調和していない場所をふさわしい風景（景観）にするためには、どんな工夫をすればよいでしょうか。自分の考えをワークシート2を使ってまとめ、みんなで話し合ってみましょう。（資料のシュミレーションを参考にしましょう）

発展

- 1 新しく作られたり改修された建物や道路などでも、以前からあるものを生かしているもの（例えば、いわれのある樹木を道路の中に残すなど）もあります。自分の住んでいるまち・むらにはそんな場所がないかどうか調べてみましょう。どうしてそれらが残されたのかも調べてみましょう。

（資料写真、 を参考にしましょう。）



どうしてこの木は残されたんだろうね。

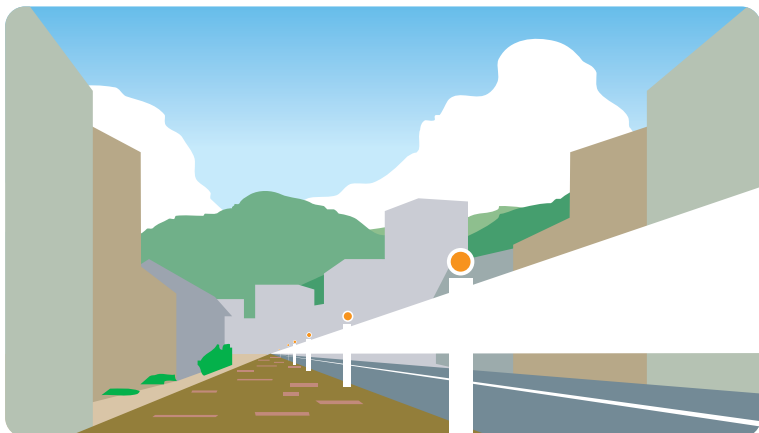


- 2 新しく改修された川などでは、住んでいる人が水と親しむことができるようにしたり、コンクリートではなく自然の雰囲気を残そうとしているものもあります。自分の住んでいるまち・むらにはそんな場所がないかどうか調べてみましょう。

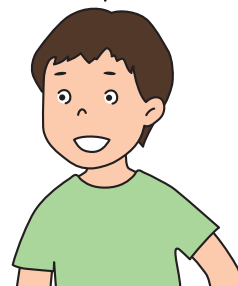
（資料写真、 を参考にしましょう）

- 3 自分たちのまち・むらにふさわしい新しいイメージをもった景観(街並みや道路など)を創っていこうという取り組みも行われています。自分の住んでいるまち・むらにはそんな場所がないかどうか調べてみましょう。

（資料写真、 を参考にしましょう）



電柱や電線がなくなるだけで、景色がすごく変わるんだね。



資料

景観に合うように修正したシュミレーション



まわりの景観と合わない



まわりの景観と合っている



まち並みの調和を考えた風景（吉田村）



緑と調和した赤瓦の風景（八雲村）



道路の中央に保存された松の木（西郷町）



以前からある樹木を活かした中央分離帯(浜田市)



水と自然と人のふれあう河川空間(三刀屋町)



多自然型の川づくり(多岐町)



電柱地中化によってすっきりした街並み(松江市)



うるおいを与えてくれる広場(益田市)


 ワークシート1

調べた日	年 月 日 ()	グループ名
------	-----------	-------

写真や絵を貼りましょう

選んだ場所	まわりと調和している まわりと調和していない
-------	---------------------------

調和している理由あるいは調和していない理由を書きましょう



ワークシート2

調べた日	年 月 日 ()	グループ名	
------	-----------	-------	--

まわりの景観に合うようにするためのアイデア * 絵に描いてみましょう。

選んだ場所		
-------	--	--

工夫したことを書きましょう